

中田かわら版 11月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田地区経営委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所

制作：中田かわら版制作編集委員会

横浜市踊場地域ケアプラザ

■この人に会いたい〈82〉

出会いを大切に地域とともに

保護司 奥津 信義さん 78 歳 (向根下)

保護司って？

罪をおかして保護観察を受けることになった人の生活を見守り、様々な相談にのる他、時に助言を行う更生保護のボランティアで法務大臣が委託をします。現在泉区では 25 人の保護司が活動しています。

(泉区更生保護だより「明るい社会」令和 7 年 2 月)

中田には 5 人の保護司さんがおられて、そのうちの 1 人が奥津さんです。

今年の春に保護司の定年を迎え、引き続き延長 2 年のお役目を継続中。

生粋の中田っ子で、いわゆる戦後の団塊世代の生まれ。9 人兄弟姉妹の末っ

子さん。中田小学校、越境入学した戸塚中学校、高校卒業後は、東京台東区御徒町にある宝飾問屋街の輸入時計を扱う会社に就職し、お客様との対話を大事に楽しみながら仕事をしていた。そうしていた折、職場界限を拠点とし大きな地盤を持っていた保険の代理店の経営者との出会いがあった。

その方は、東京下町の地主達からの信頼も厚く安定した仕事をされておられたが、高齢のため自分の仕事を託す人を探していて、奥津さんは人柄の良さを見込まれて地盤と顧客ごとそっくりそのまま引き継がせていただき、大変恵まれた転職となり、今に至っている。

順調に仕事に打ち込んでいた時、地元有志の人々から PTA の役員を引き受けるよう背中をおされて役員に。続いて平成元年から町内の体育指導員・青少年指導員・ソフトボールの審判員・ソフトボールの記録員の資格を取得し、地元だけでなく各都市の試合に参加し地方の人々とも交流ができた。平成 19 年 5 月、保護司の役を引き受けられ活動された。

「保護司の制度も分からなかった。分からないから受けたような気がする。制度に協力しようと思った。」と振り返られる。「更生するのは本人しかできない。そのお手伝いに行きつく先はやっぱり会話かな」と。

「いつも出会った人に恵まれて、今まで活動できとても楽しかった。支えてくれた奥様に感謝。健康な体に感謝」。とにこやかな笑顔。数々の思い出と感謝の心を胸に令和 9 年 3 月末までの任期延長。お体に気をつけて全うしていただきたいと心から応援したい。頑張ってください。

(小島 敏子)



鮫島次男さん 藍綬褒章 令和7年8月18日死去 享年93歳

「防火防犯」活動に生涯捧ぐ

鮫島さんと言えば防犯と言われるほど、知られた存在だった。昭和40年10月、横浜市交通安全協会から初めて「表彰」を受け、平成27年12月に神奈川警察本部長賞まで20年間に、20の受賞。そのちょうど1か月前に藍綬褒章を受けている。泉区では福祉活動の功労で井上静子さんが受けており中田から2人目の受賞者であった。これは大変な功労と言わねばならない。



その鮫島さんが「防犯」に係わるようになったエピソードがある。昭和51年4月、夏刈場自治会の会長になり中田連自治会理事会にデビュー。1期2年の任期を務め理事を退任するとき、時の連合会長の奥津喬雄さんが、自身が兼務していた「防火防犯」のポストを鮫島さんに譲り連合に残る道を開いた。奥津さんは早くから鮫島さんの人柄や力量を認め、地域でもっと活動してほしいと願っていたのだ。その後、防火防犯部長の要職を昭和53年4月から平成13年まで24年間勤めている。

平成16年（2004年）10月、鮫島さんが全国防犯連合防犯栄誉賞金賞（警察庁長官から）を受けたとき、中田町会館で行政や自治会関係者らおよそ100人が出席し受賞祝賀会が開かれた。発起人代表の望月榮さんが鮫島さんの経歴を紹介した。「過去防犯活動で10回の受賞をしている。地元中田連合として大変喜ばしいことであり、誇りである」。市議員の中島憲五さんは「鮫島さんは粘り強い人。自分が決めたことは最後までやり遂げる。市営地下鉄1号線の開通（平成11年）パレードでは反対を押し切って実現させ、交番の移設を地下鉄の入口近くに誘致したのも鮫島さんの功績が大きかった」など祝辞を披露。

振り返って中田での最大の功績は、平成14年（2002年）、中田地区社会福祉協議会の会長になったとき「五項目事業」を掲げ活性化の基礎を築いたことだろう。私には衝撃的だった。活動の目的が明確で活動の分野が分かりやすく、5つの部長制を作ったのもよかった。

令和の現在も「二十日会」「友遊会」「子育てサロン」「親子野菜作り体験塾」「広報活動」として現在も脈々と続いている。いかに素晴らしい道標だったかが分かる。最後に鮫島さんらしい、いい話を紹介したい。鮫島さんが藍綬褒章を受けたとき、真っ先にしたのは奥津喬雄さんと小山栄次さん（元連合会長）のお墓に行って受賞の報告をしたこと。鮫島さんの律義さと優しい人柄を彷彿させる話である。心から追悼の意を表します。南無。

宮田 貞夫

編集後記

かわら版10月号で“中田シニアクラブ連合会会長”が取上げられていたので関連を少し。少子高齢化が叫ばれて久しい。1970年に高齢化が、1974年に少子化が言われ初めて実に半世紀。実態は更に進行している。（諸外国も同様の悩みを抱えて）シニアクラブが取り組む様々な事業や制度設計は、高齢者自らが自分達の環境を整え運営している。大事なことでありその中を私達は生きている。シニアの友よファイト！

河内 満明

◎発行：中田地区経営委員会「かわら版」制作編集委員会

委員長 宮田貞夫 編集長 松本 正

編集委員：小島敏子、田中 進、河内満明、松本純子、鈴木賀津彦、嶋 宏之